

小笠地区では稲刈りも始まり、暑い中でも秋の気配を感じられるようになってきました。本来であれば芸術の秋、食欲の秋、スポーツの秋と意欲的に取り組みたいところですが、やはり新型コロナウイルス感染症を心配する気持ちが先立ってしまいます。第7波の猛威は和松会にも押し寄せてきており日々不安の中で過ごさざるを得ない状況となっておりますが、当デイサービスでは引き続き皆様と一緒に感染対策に取り組みたいと思っております、改めて感染対策の確認をお願い致します。



●普段とは違う体調不良（発熱、咳、味覚臭覚の異常、下痢、倦怠感など）を感じた時は人との接触を止めましょう。デイサービスご利用の前には必ず体温測定をお願いします。同居されている方の体調不良時もデイサービス利用など人との接触を避けましょう。

*お迎え時の乗車前体温測定というお話を頂きました、送迎時体温計を持参するように致しますが、環境による不正確な測定や突然の利用中止などが起こり得ますので、起床後や朝食後など事前に確認をして頂くようお願い致します。

職員も出勤前に体温測定や体調を確認するようにしています。

●ウィルスを体内に入れないように、手洗い・うがい、マスクの着用、部屋の換気に取り組みましょう。

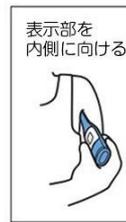
デイサービスでは時間を決めてテーブルや車いすの消毒、換気を行っています。エアロゾル（空中に浮遊する粒子）感染への注意喚起があり、デイサービスではエアコンを使用しながら2方向以上の窓を開けておくなど、節電にはなりません。換気に注意するようにしています。



体温測定方法

体温計を下から少し押し上げるようにして、わきをしっかりとしめる。

●わきの中心に当てる



●熱中症予防について● 秋を迎え熱中症の心配がなくなると良いのですが、まだまだ油断はできません、節電対策で「エアコン設定温度 28℃」という言葉が広く伝わりましたが、部屋の広さや日当たりによって設定温度まで下がらないこともあります。温度計を用意して室温を確認すること、こまめな水分摂取を継続しましょう。